

医療・福祉における地域・住民エンパワーメントプロジェクト

CEHSOC 第4回定例研究会

生協組合員による地域福祉への「参加」 ～ワーカーズコレクティブおよびNPO支援を通して～

本郷 靖子 氏 (アズナチュラル協同研究所所長)

大家 けい子氏 (企業組合キッチンとまと職員)

(ワーカーズコレクティブ)

コーディネーター: 秋葉 武 (立命館大学産業社会学部助教授)

日 時 : 2006年5月19日(金) 17:30~20:00

場 所 : 立命館大学衣笠キャンパス 創思館 4F 407号

参加費 : 無料

1980年代、全国で地域生協の事業は急速な発展を遂げると同時に、組合員の様々な社会的活動も注目を浴びました。とりわけ一般の流通小売企業にはない、事業および社会的活動へ対する組合員の参加、コミットメントは生協の強みといわれてきました。しかし、外部環境の変化によって、組合員参加は停滞していきました。

そうした停滞を打破する方法として、特に1990年代、「新しい」組合員参加が台頭してきました。代表的なものとして、生協組合員によるワーカーズコレクティブの結成と運営があります。組合員らは地域において、高齢者向けの配食サービス、家事支援等を通じて地域福祉に一定の影響を持つまでに至りました。しかし現在、これら新しい組合員参加の形骸化が指摘され始めています。

他方、2000年代に入って新たな動きが起きています。組合員によるNPO法人の設立、運営支援等の動きです。その特徴は、(従来のように)組合員を「マス」で捉えるのではなく、「個人」を支援するという視点です。

本研究会では、現在に至るまで15年以上に渡って生協およびワーカーズコレクティブで組織運営を実践してきた両名を迎えて、これら組合員活動の抱える現状と課題を明らかにすると共に、今後の方策について検討していきます。

主催・問い合わせ先: 立命館大学人間科学研究所: CEHSOCプロジェクト

(医療・福祉における地域・住民エンパワーメントプロジェクト)

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 立命館大学人間科学研究所

Tel: 075-465-8358 Fax: 075-465-8245 E-mail: cehsoc@yahoo.co.jp (担当: 松島)

<http://www.ritsumei.ac.jp/~kmt21877/cehsoc/>

本プロジェクト研究は、日本生活協同組合連合会医療部会からの奨学寄付金と文部科学省オープンリサーチセンター事業「臨床人間科学の構築—対人援助のための人間環境研究」の採択を受けて遂行されています。